

病害虫発生予察情報

7 月月報

平成 12 年 8 月 10 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

7 月	気 温		降 水 量		日照時間	
	最 高	最 低	平 均	(mm)	(h)	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)
上旬	30.3	4.4	21.1	2.0	25.4	3.1
中旬	32.3	4.5	23.8	2.9	27.6	3.6
下旬	31.3	1.7	24.2	2.1	27.6	2.2
平均	31.3	3.5	23.1	2.4	26.9	3.0
合計					242	160

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：平年値(1979-1990 年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬は平年よりかなり高く、下旬はやや高かった。

降 水 量：上旬は平年よりかなり多く、中旬は降雨はなく、下旬はやや少なかった。

日照時間：上・中旬は平年よりかなり多く、下旬は平年並であった。

<天候概況>

上旬：前半は大気の状態が不安定となり、地域により雷を伴う大雨が、3、4 日の昼にはひょうが観測された。7、8 日は台風第 3 号が関東地方に近づいた影響により大雨となった。
中旬：前半は梅雨前線の影響で曇りの日が多く、後半は太平洋高気圧に覆われて気温が上がった日が多かった。17 日頃に関東甲信地方は梅雨が明けたとみられる。
下旬：旬の始めと終わりは前線の影響で雨となった。23 日の最低気温は 28.0 となり、7 月としてはもっとも高い値となった。

2 作物生育概況

(1) イ ネ

生育は順調であった。

(2) サツマイモ

生育は順調であった。

(3) 果 樹

ナ シ：果実生育は、早生品種は例年よりやや劣るものの、その他の品種では平年並かやや良であった。

ク リ：きゅう果の生育は、平年並であった。

カ キ：結果数は平年並からやや良、生理落果は平年並からやや少であった。

ブドウ：果実のベレーゾン、着色開始期は、平年よりやや早かった。

(5) 茶 樹

二番茶芽の摘採期は平年並で、品質、収量ともに良好であった。

(6) 野菜類

果菜類：7 月の後半やや乾燥ぎみであったが、トマト、キュウリ、ナス等の生育は概ね順調であった。一部地域では、2 日の豪雨や台風 3 号の影響により、スイートコーンが倒伏したり、ナスの茎葉や果実に傷が生じるなどの被害がみられた。

葉菜類：根菜類：コマツナ、ホウレンソウなど概ね順調であったが、月の前半やや日射量が不足したため、施設栽培ではやや軟弱ぎみの生育であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病

< 平野部：並 山間部：やや多 >

山間部での発生がやや多かった。発生水田では進行型病斑が多く観察された。

紋枯病

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

ニカメイガ

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

イネツトムシ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

セジロウンカ

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

斑点米カメムシ類

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ

黒星病

< 並 >

発生がやや多い園も一部で認められたが、全体的には平年並の発生であった。

黒斑病

< 少 >

各地とも発生は少なかった。

アブラムシ類

< 少 >

各地とも発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

クサギカメムシ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

チャハマキ

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

チャノコカクモンハマキ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

チャノホソガ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

カンザワハダニ

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

ナガチャコガネ

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

うどんこ病

< やや少 >

各地とも発生はやや少なかった。

べと病

< 並 >

各地とも発生は平年並であった。

斑点細菌病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
つる割病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
トマト		
モザイク病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
青枯病	< 局所甚 >	日野市の 1 圃場で極めて激しい発生を認めたが、全体的には平年並の発生であった。
葉かび病	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
白ぶくれ症状	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< - >	各地とも発生は一昨年、昨年と同程度であった。
ナス		
うどんこ病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
半身萎凋病	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
褐色円星病	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。本病の 7 月の多発は特異的である。
ハダニ類	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
ミカンキイロアザミウマ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
キャベツ		
株腐病	< やや多 >	各地とも発生はやや多く、町田市の 1 圃場では激しい発生を認めた。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
萎黄病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
コナガ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
キスジノミハムシ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
ネギ		
さび病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
黒斑病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
野菜共通の病害虫		
マメハモグリバエ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ワタアブラムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
(5) 花きの病害虫		
キク		
アブラムシ類	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。

シクラメン

チャノホコリダニ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

ミカンキイロアザミウマ

< やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

チャドクガ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

(7) 島しょの病害虫

< 大島 >

ウスイロヒゲボソゾウムシ：ツバキで成虫による食害が発生した。

病害虫の発生予報、発生状況などをお知らせしています。

テレホンサービス

042 (525) 8236

インターネットホームページ

<http://www.taes.metro.tokyo.jp/boujo>